

おもてなしの
心粋



代表取締役社長 水上隆仁さん

現代では、伝統素材が飛ぶように売れる時代ではなくなりました。京扇子の世界においても、どうしても新しい取り組みに目が行きがちで、今までとは違う素材を使ったり、加飾が過ぎたデコラティブなものを作ったりしがちですが、京都を訪れるインバウンドのお客様を見ていると、そうした目新しいものでなく、伝統的な技術やグラ



舞い扇ぐ涼風に
おもてなしの
心を込めて

ここを込めて
我が社のおもてなし

株式会社舞扇堂

代表者 / 水上 隆仁
住 所 / 京都市伏見区桃山羽柴長吉東町58
T E L / 075-621-7137
U R L / <http://www.maisendo.co.jp/>

ンドデザインが凝縮された「ほんまもん」の魅力を求めている人が多いというところに気づきました。外国語での接客サービスなど時代に合わせて対応していくと同時に、これまで守り受け継いできた京都の精神をものづくりにしつかりと活かし、お客様に提供していく。それが私たちのおもてなしの本質だと考えています。

暖簾をくぐると、そこはまるでおもちゃ箱のよう。オリジナルの絵柄が美しいメイド・イン・京都の扇子はもちろん、手ぬぐいやハンカチ、ストラップなど彩り豊かな和雑貨が並び、見ているだけでわくわくした気持ちにさせられます。

「せっかく来られたお客様に、もっと京都らしさを味わっていただきたい」。そんな思いで水上さんは、京扇子の絵付体験にも取り組んでいます。和紙に好きな絵や文字を描けば、職人が京扇子と同じ素材、製法で、一つひとつ丁寧に仕立ててくれるというもので、自分だけのオリジナルの京土産が作れると、修学旅行生にたいへん好評です。そのほか、清水店では扇子を投げて得点を競う投扇興体験も用意。窓に映る八坂の塔を眺めながら、花街の伝統的なお座敷遊びに触れられるとあって、京都ならではの風情を求めるインバウンドのお客様が多く訪れます。

「私たちのおもてなしの基本は、幅広い年齢層の人たちに楽しんでもらうこと！」と水上さん。祇園や産寧坂、嵐山等の店舗では、クッキー、金平糖、ジャムなどを提供する和菓子ショップを展開。京都産の素材にこだわったスイーツだけでなく、京扇子の絵付職人が特別に描き起こした愛らしいパッケージデザインも魅力的です。

京都の街は色づき、秋もいよいよ深まってきました。季節は移ろい過ぎて、頬を撫でる京扇子の風はそよそよと心地良く、私たちを清々しい気分へといざなってくれます。